

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	育てたい資質・能力	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度かどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点・持続可能な社会の創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成 郷土教育・キャリア教育・ICT教育・プレゼン教育	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXをとり入れた教育の推進 ③学校・地域・関係団体等との協働による郷土教育の推進 ②こどもの自己実現を支える教育の推進 ①豊かな心、健やかな体、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	元気 強い子 清見の子 進んで学ぶ子 なかよくやりぬく子 じょうぶで明るい子	よく考え、対話を通してよりよく課題を解決する力	こども達と活動の目的や意義を考え、対話し、学びの「質」を高める	① 小集団における対話の方法の工夫	ねらいや児童の実態に応じた学習形態を工夫し、全ての児童が自分の意見を出していける方法を児童と共に生み出す。		
					① 学習意欲を引き出す題材の設定	本時のねらいに合わせた導入や議論の方法を工夫し、課題解決に向けた個や集団への働きかけを行う。		
					④ 基礎的・基本的な知識や技能の定着に向けた取組の工夫	授業終末の評価問題や学校独自の学習検定(算数オリンピック・漢字オリンピック)の取り組みを通して、情報活用能力の育成を行う。		
				児童の自己決定を尊重し、その実現のための環境づくりに注力する	② 自分も他の人も大切にできる子どもの育成のための指導の工夫	仲間や自分のよさを見つけ発信していく活動を通して、常に自分の行動について振り返る期間を位置づけていく。		
					② 「真に強い子カード」(なりたい自分、実現に向けた過程の可視化)の活用	年間を見通した各期ごとの「なりたい自分」実現に向けての指導と見届けを行う。		
					⑤ 計画的な対話活動と評価、よりよい支援のための保護者や外部機関との連携	児童・保護者の困り感に寄り添い、必要に応じてチームで支援し関係諸機関と連携しながら意図的・計画的な支援を充実させる。		
				進んで清見について学ぶ工夫	③ 地域ぐるみの人権教育の推進	人権のまち清見として、人権教育等のあり方について保・小・中で連携しつながりのある教育活動を推進する。		
					③ ふるさと(郷土)教育の推進	清見の自然やそれに関わる産業への理解を推進し、そのよさや育てたい資質、能力を地域と共有しながら、地域と一体となったふるさと教育を充実させる。		
					⑤ 地域ぐるみの命を守る訓練の実施	本番を想定した防災訓練の実施と共に、保・小・中、地域と連携による引き渡し訓練を実施する。		

学校運営協議会における主な評価内容